

子育てママが地域をつくる

北海道白老町 特定非営利活動法人お助けネット

子育てママが地域をつくる

25年以上前、結婚や転勤で白老町に越してきたママたちが中心になり、育児サークルや子育てのミニコミ誌を発行するなどして仲間が広がりました。その時々学びたいことやみんなで楽しみたいことを企画して、地域の人たちの協力をいただき実施してきました。

その原動力になったのが、母親たちのその時々切実な願いです。「知らない土地で孤独だ。友達がほしい」「子育てや自分のことを語り合いたい」「お父さんたちに伝えたい」「こんな支援があったらいいな」「子育て支援について学ぼう」「仕事と子育ての両立が可能な社会を我が子に」「信頼を得るため法人化して拠

点を持ちたい」「国の補助事業を利用してできる事業を町に提案しよう」などなど、地域の他の世代の方のお力をいただいて、『変身』してきたように思います。

子育て中の親御さんの声を行政に届けたり、自分たちでできることは行動しようと託児グループを作ったりしているうちに、素人の主婦11人で、「子育て支援のNPO法人を立ち上げよう」と挑戦することになりました。子育て支援を意識するようになってからは、広く町内全体に呼び掛けながら人材育成に取り組めたので、20代から70代まで幅広い仲間が集まりました。また、拠点を持たないことで、それぞれの部でリーダーが力を発揮し、個々のメンバーが持ち味を発揮して活動できるようになりました。



自由に遊べるひろばで友達ができました！





大人も子どももカブラの魅力にはまっています



小学生が森で遊び、大工道具で工作も



地域のおじさんおばさんに教えてもらえて楽しい!

【北海道にある元気まち】白老町は、人口1万6千人ほどの小規模な自治体です。早くから「協働のまちづくり」に行政も積極的だったこともあり、子育て支援の施策や事業の協働も少しずつですが進みました。当初は、町の審議会などで発言する程度だったのが、町の支援センターが開設する時に自分たちでアンケートをして提案することや、「できることは始めよう」と託児グループを立ち上げるなど動きました。小さな活動でしたが熱意と実行力が伝わり、法人化後は、いくつかの事業を受託されています。特に現在行っている受託事業は「国の施策を白老町でも実施してほしい。そして私たちに委託してほしい」とこ

ちらから働き掛け、計画の最初の段階から協働でつくりあげてきました。

現在の活動

● 会の目的（ミッション）は、「0歳から20歳までの子どもの健全な成長が保障される地域社会の実現」です。「生まれてきてくれてありがとう」「ともに育ち合える喜びにありがとう」を合言葉に、20代から70代の正会員45名が、三つの部に分かれて活動しています。

白老町から委託された「地域子育て支援事業」と「ファミリーサポートセンター事業」をはじめ、様々な子育て支援活動を展開して

います。

【会員数】提供会員（法人正会員）45名、賛助会員20名

【財政】年間予算600万円程度（うち8割近くが町からの受託事業分）

【利用者数】ひろば年間延べ4000人、ファミリーサポート年間延べ2500人。子育てサロン（年4回150人）・親のためのミニ講座（年5回程度50人）他にイベント（年4回程度200人）・小学生の放課後活動（年20回程度400人）など

【活動内容】事務局運営スタッフ8名が各部のリーダーとして三つの部の事業を推進しています。



施設周辺の森で、乳幼児も遊びます

- ★つどいの広場事業部 すくすく広場の企画・運営：毎月必ず全員でひろばの会議を持ち研鑽しています。(月・火・水・木・土 10時～15時。金曜・日曜・祝祭日休館)
- ★託児部 ファミリーサポートセンター・集団託児
- ★情報交流部 情報誌の発行(月一回)・おもちゃ広場事業(カプラやゲームなど学童向け)・大人のためのリフレッシュ講座
- ★小学生向け放課後活動(外遊び・中遊び) 月2回程度
- ★全道規模の子育て支援研修会の実施・ネットワークづくり・視察研修受け入れなど

年間の事業数は、毎年どんどん増えていきます。提供会員は年度末に次年度自分がどの部に所属して活動するか自分で決める(いくつでも可)ため、それぞれが自発的に活動してくれています。数年前からはセンターの利用者さんが、提供会員の養成講座を受けてくれるようになり、地域の中で子育て支援の連鎖が起きています。

活動の広がり、 地域の総合的な子育て支援拠点へ

センター開設から15年が経ち、利用してくれた子どもたちが小中学生になったこともあり、小学生向けの事業が盛んになってきました。ゲームやカプラのイベントに加え、月に2回放課後の小学生の遊び場事業も人気があります。中学生がお手伝いで参加してくれたり、自然遊び名人や工作おじさん、囲碁名人などの指導者にも来てもらい、センター周辺の400坪の外庭雑木林も活用して、楽しい活動が広がっています。

すくすくひろばを拠点として、出張型のサロンやファミリーサポートセンター、訪問型支援など様々な家庭のニーズに添えてくる中で、自然と行政等の様々な機関(支援センター・保健師・保育園・療育機関・学校・社会福祉協議会など)とのつながりができ、包



地域の子どもたちに楽しいイベントを提供！

括的な支援ができることも増え、様々なニーズに対応することが可能となってきたことに感謝しています。

これからも今までと同じように、一人一人の個性を生かして、変幻自在に活動していきたいです。

【特定非営利活動法人お助けネットWebサイト】<http://blog.campan.info/otASURE/>
(特定非営利活動法人お助けネット)

代表 中谷通恵